

○ 小学校社会 第6学年 ④

「明治時代をつくった人々」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関 意	思 判 表	知 技 理
(1)	明治政府が近代国家成立のために行った政策である「廃藩置県」についての知識を有しているかを問う問題である。	内容(1)我が国の歴史ーキ、クのうち、「廃藩置県などの諸改革」、「日清・日露の戦争」及び「条約改正」についての活用問題である。			◎
(2)	1890年の衆議院議員選挙における有権者が極めて少ない理由について、資料や会話文から必要な情報を読み取り、既習の知識などとも関連付けながら説明できるかをみる問題である。	問題を解く際には、提示された資料から読み取った情報や既習の知識などを活用して、授業で学んだことを転用させていくことが大切である。	○	◎	○
(3)	日清・日露戦争に勝ったことにより、日本の国力や国際的な地位が認められて関税自主権の回復ができたということを判断する問題である。	日本の歴史事例を通して授業で学んだ内容を、宮崎県に関連する2人の人物を手がかりに転用させていきながら、我が国の先人が国家・社会の発展に大きな働きをしたことを共感的に理解させることが主なねらいである。	◎		○
(4)	小村寿太郎の努力によって関税自主権を回復したことにより、不平等条約改正が完成したことを理解しているかをみる問題である。				◎
(5)	日清・日露戦争時の各資料を関連付けながら、国民が日露講和条約に不満をもった理由を考え、それを説明できるかをみる問題である。		◎		○

